

海保で就業体験「興味わいた」



巡視船「えりも」の甲板で救助資機材の説明を受ける
白糠高生

白糠高2年の女子生徒2人が
釧路海保でインターンシップ
(就業体験)を行い、鑑識作業
や心肺蘇生体験などを通して、
海上保安官の仕事への理解を深
めた。

9、10日の2日間にわたり実
施。初日は指紋採取を体験した
り、釧路航空基地でヘリコプタ
ーを見学したりした。10日は巡
視船「えりも」(1500ト)の

白糠高2年の女子生徒2人

訓練の厳しさ実感

船内を見学した後、潜水士の指
導を受けながら、自動体外式除
細動器(AED)を使った心肺蘇
生法を体験。甲板では、ウェッ
トスーツや酸素ボンベなどの救
助資機材についての説明を受け
た。

体験した山崎明莉さん(16)は
「20分もあるボンベを軽々と背
負う潜水士を見て、日頃の訓練
の厳しさを実感した。楽しく教
えてもらい、海保の仕事に興味
がわいた」と話していた。

(伊藤凱)